

ヒューマンハーバー



9月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.198 2011年(平成23年)9月20日(火)発行



◆「松下政経塾」野田新首相は松下政経塾の一期生



◆7/23 関東地区本部 浅草寺 視察研修

CONTENTS

巻頭	1
最新経済情報	2
通用しないケインズ経済学	2
【関東地区本部事業報告】	
観音様と浅草寺を取り巻く問題	3
関東地区本部 コーチングオフィス 幸せ経済研究所 長谷真子氏	4
経営者にとって大事なことは	6
経営トップの修学旅行研修レポートその3	
信越地区本部 (株)北陽 羽尾光男氏(前号からのつづき)	6
写真で綴る関連事業・スケジュール	8
PETIT情報・編集後記	8

一步一步着々寸進

期待していた「松下政経塾」出身初の野田佳彦
総理大臣が誕生しました。

松下政経塾は、幸之助翁が昭和54年9月「混
迷の度を深めていく日本には、新しい国家を創
造する指導者育成が必要だ」との理念の下、70
億円の私財を投じて神奈川県茅ヶ崎市に「財団
法人松下政経塾」を創設したもので、翌55年
には約900人の応募者から選ばれた一期生23
人の一人が野田総理大臣です。

本誌ヒューマンハーバー7月号で時あたかも
震災復興、原発事故、混迷する内外の経済、財政
再建等難局から、日本の政治を憂い、今こそ松下
幸之助翁の薫陶を受けた指導者を待望する旨訴
えましたが、まさかこんなに早く実現するとは！
入塾試験の際、幸之助翁に認められた強運は、今
日のこの国難を乗り切るに必要、必然、ベストの
野田総理大臣として誕生しました。

政権発足一週間余りで、馬鹿な発言をし辞任を
した主要閣僚が出、厳しい船出となりましたが
松下政経塾出身宰相として、歴史に刻まれるよ
うな名宰相となるよう毅然とした姿勢で政にあ
たっていただきたいものです。

幸之助翁の教えの中に「一步一步着々寸進」と
いう言葉があります。たった8文字の幸之助語
録ですが、総理大臣には日本再生戦略実現のた
めに要諦となる言葉だとおもいます。開塾初期
のころは、幸之助翁が自ら講義をし、直接薫陶を
受けた野田総理は幸之助イズムを実現するこの
教えを聞いているはずです。どうぞこの言葉を
肝に銘じ、どじょう宰相らしく泥臭く着々邁進
してほしいものです。